

## 第2回網走市選択する未来会議発言要旨

### ○委員

- ・戦略の基本的な考え方は賛成である。
- ・具体的な取組み方で、更に先駆的な取組で予算をもらうということになれば、その辺りの掘り起こしはどうかかなと思う。もう少し突っ込んで全国的に先駆的と言える取組を記載しても良いのではないかな？
- ・既存事業にしても、隘路の取組が必要ではないかな？また、隘路の問題点については、どのように整理されているのかな？という点をお聴きしたい。
  
- ・事業の先駆性の掘り起こしがどのように記載されているのかな
- ・具体性がもっと必要ではないかな
- ・既存事業とどこが違って、どう課題があって、どうクリアーしていかなければならないのかな

### ●事務局

- ・先駆性だが、「強みを更に磨いて人口減少社会に挑戦していく」という考え方が一つのスタンスになっている。
- ・特徴は、地場の産業エネルギーを活用し、第一次産業が持っているポテンシャルを活用し、付加価値を高めていくことで、食とエネルギーを確保していくのが一番の柱だと考えている。国際的な為替に左右されない産業を創っていく。
- ・掘り起こしについては、市では、毎年政策検討会を開催しており、その中で、今後5カ年の取組が議論されている。その中で議論された積み上げがあったので、そのキーワードを文章化していく作業を進めてきた。
- ・体系図を見てももらえればわかるとおり、想定される取組がまだ乏しい、これは、新交付金の予算が明確化されていない。8/4の石破大臣の発表では、1,080億の事業規模で国と地方で半分ずつ出し事業に取組との発表があり、また、各省庁から補助金などと言っているが、不明確な状況である。各省庁の概算予算に注視しているが、そこが固まらないと平成28年度事業にどの施策をどう打つのか、また29年度以降にどう打つのかと言った判断がまだできていない状況である。
- ・既存事業の隘路についても、政策検討会の中でも既存事業をベースにしながら議論しているので、その中で整理してきたと考えている。

### ○委員

- ・方向などについては、承知した。
- ・先日の首長会議でも発言させていただいたが、現状の観光の問題についても、今日の

道新にも記事があったが、インバウンドの観光客数が順調に伸びている、150万人を突破と、その中で、当地にも受入れ体制ができているとか、看板の問題だとか、切りがない位ある。そういう問題を何処が、何時までにどの団体がやるのかと言ったことを整理していかないと。地方創生で市民と連携して、行政ばかりに頼むのではなくて、商工会とかとの連携の中で、現状のアンケートをして問題点を整理していく、同時に経済効果も上げて行く。そこが先程言った隘路だと考える。国は予算がつかますから、インバウンドの課題については、観光協会さんも含めて取組んでいく必要があるのではないかと考える。

- ・例えば、女満別空港から外国人がレンタカーを借りた時に今の標識がわかるかということ。一時停止の看板に英語で標記するとか。そういう問題を一つずつ整理していくことが非常に大切だと考える。

#### ○委員

- ・地方創生のプログラムが従来までの事業とどう違うのかというところの明確化が私も必要だと考えている。
- ・従来の課題を整理し、どう対応するか考えた上で、先駆性の事業を積み上げて行く。そういう仕組み作りが大切だと考えている。
- ・また、2,000億円で地域が創生するかどうか？と言うのは、全国的な規模から言っても果たしてどうなのか？と思っている。
- ・しかし、企画力や先駆性と言われていいますので、そこを担保された事業が優先的に事業採択されていくと思うので、網走市が道内の中でも抜きに出て先駆性が高いと言われる取組みを示すことが、委員の言った内容に繋がっていくと思います。
- ・従来までのものと何処が違うのかというところは、私もはっきりさせた方が良く思う。
- ・アクションプランについては、まだ想定とのことではあるが、実行性も踏まえて考えていく必要があると思います。
- ・市の内部の政策検討も良い話ではあるが、第三者の視点で政策検討への意見・チェックする形もあっても良いのではと思うので仕組みを検討していただきたい。

#### ○委員

- ・想定される取組の右側、アクションプランが実際にどうなっていくのか？事務局の話では、財源が明確になっていないと言う中で、どれだけこの取組が出来るのか、事業の絞り込みが必要となってくる。その中でもプライオリティー付けをどの段階で、どうつけて行くのか、この場でやるのか？どのように考えているのかお聞かせいただきたい。

●事務局

・優先順位をつけるのは、中々難しいと考えている。

一つは、国の予算がどうなっていくのかが、目安になってくると考えている。

国の予算がなくても市費で実施するとか、政策検討会の中でも内部的な議論はするのだが、予算については、市議会の方でも議論・審議されるので、その様なやり方で優先順位を決定していくという形が現実的である。

○委員

・おっしゃるとおり、優先順位というのが非常に大切になってくる。先駆的な取組は太枠で囲むとかして、戦略性・先駆的な取組が解るように整理しても良いと思うので、ご検討いただければと思う。

○委員

・子育て支援についてだが、育児休業をどれだけの職場がとれているか？官公庁の方はとりやすいが、それ以外の一般的な企業の方が取得されているのは、私が知るところ北洋銀行さんだけです。

・育児休業を取得すると、3歳・5歳のお子さんがいた場合、お母さんが一年で復職した時に5歳の子は通っていた保育所に戻れるが、3歳の子は、同じ保育園に預けられる担保がない。北見市や帯広市では、既に同じ保育園に預ける方向性を示して、対策を講じる制度に取り組んでいる。網走市はまだなので、女性が働き続けることを考えると未来を見据えて、他市町村に遅れをとらない形で取り組んでいただきたい。

●事務局

・お話しがあった保育園の話は、承知している。育児休業の取得も含めて9月上旬から行うパブリックコメントなどで課題への意見・提案いただきたいと思う。委員からお話しのあった先進事例についても注視しているものの中々実施に至らない状況であるが、徐々に改善していきたいと考えている。

○委員

・最終的には、網走市の人口を持続的に確保していくためには、周辺の条件整備が必要であり、安心して子どもを産める・育てられる環境整備が必要である。この前のシンポジウムでも出ていましたが、若い女性の札幌圏への流出率が高いということは、指摘されているので、ここに住みたくなる環境、子育てしやすい環境については、地方創生の取組の中で網走市の重要な取組の一つだと思うのでご検討いただきたい。

#### ○委員

- ・うちの職場では、男性で育児休業をとった職員がいる。体験者に聞くと非常に良い体験ができたとお伺いしている。
- ・保育所の関係となると保育料の問題、病時保育の問題などあるので、是非、小さな声も拾っていただき進めていただきたい。
- ・就業の関係は、質の問題ということもありましたが、女性の非正規社員の問題もある、短時間ではアルバイト的な雇用になってしまう。将来が見えないと、結婚に踏み切れない、子どもを持つことに躊躇してしまうと思うので、産業振興策を支える働き手の若い皆さんの就業をどうやって確保していくかというところをセットで考えると一つの網走の特色にも見えるのではないかと思います。

#### ●事務局

- ・女性の就労の関係については、収入・非正規となると介護福祉の分野が足りないと言われている。新聞報道でも今後、首都圏では、介護の必要な高齢者が増えて行く、施設が足りていないということもあるが、当然、施設が充実していくと担い手も必要となってくるわけで、網走の介護を担う方を取り巻く仕事の質、就労条件が悪いとすれば、こちらの方に移動してしまうと言う恐れもある。そうすると現在医療については、医師も看護師も数はいるのだが、首都圏に固まってしまう、網走の医療体制が崩壊してしまうということがあるので、介護福祉に携わる方の就労状況をどうしていくのが課題となっていると認識している。

#### ○委員

- ・農友会としての意見としては、先月まとめて提出させていただいた。
- ・私達が取組むイベント情報発信などをより市民の中に入り周知するなど、自分達の出来ることをやっていきたいと考えている。  
(今年の収穫祭は、市民参画という視点も視野に入れ、より地域密着ということで「オホーツク収穫祭」とイベント名を変更したとのこと)

#### ○委員

- ・求める方向性は、皆わかっている。このポイントは、市民の皆さんのつぶやきをどう拾って、フォロー・政策に反映させるかだと考える。それが先駆的なものになるのかも知れない。
- ・会議のやり方ももう少し、堅苦しくないやり方・雰囲気作りも良いのではないかと。

#### ○委員

- ・次回からは、出席委員全ての方からご意見を頂戴したい。

●事務局

・事務局から小中学校の医療費無料化について、当市は3歳児までだが、拡大すべきか否かについて、皆様からご意見をお伺いしたい。

・管内でもかなりの市町村が小児医療無料化を小学生までとか、中学生までとか実施している。当市の見解としては、小児医療の無料化を実施すると医師会との議論であるが、小児科医・産婦人科医への影響があるだろうと、そうなると医師が耐えられなくなり、医者がいなくなることも想定されるということで取組んでいない。医療費の無料化があっても医療機関が無くなってしまえば、本末転倒ですので、その辺りについて、つぶやきで結構なのでご意見をいただきたい。

○委員

・NHKで東北の小さな市の中学校まで無料化した番組を見た。市長はこの取組をすることで、近隣の方がその市に集まってくる。そうなると道市民税とかが集まってきて、お金を医療分野に費やすことができる。その市長さんは、子育て支援をきっちりとするという信念を持って取組んでいた。基本的に中学生までとは言わないが、行政として地域として、勿論、医療体制を整えて、私はできれば義務教育まで取組んでいただきたいと思います。

○委員

・戦略の策定を市に任せるだけでなく、今後のパブリックコメントなどにも皆様にご意見を出していただき、戦略に反映させていきたいと考えるのでよろしくお願ひしたい。